

## 第 37 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会③】

日時：2023年11月1日（水）  
全体会・部会①・部会②・部会③  
10:00～12:00（予定）  
場所：JR 東日本現地会議室

### 次 第

#### 【部会③】

(1)開会

(2)試掘調査の状況について

【資料 1】

(3)その他

(4)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。

## 試掘調査方針

【資料 1-1】

方針① 高輪築堤調査・保存等検討委員会で決定された「高輪築堤跡の調査の方針」に基づき、調査計画を策定、実施する。

方針② 羽田アクセス線計画地点は文献調査から近世の薩摩台場が検出される可能性が高い。当該地点は薩摩台場を利用して高輪築堤を築いた来歴が文献調査から判明しているため、高輪築堤の一部として薩摩台場の現況を埋蔵文化財調査により把握する必要がある。

## 試掘調査一覧

方針	調査地点	調査の目的	調査方法	実施状況
①	到達立坑部分 2 箇所 ※資料 1-2 参照	・築堤の遺存状態の確認 ・薩摩台場と築堤の関係性の確認	ライナープレート(内径 1100 mm) T.P.-2.0mまで調査予定	10 月より着手。 (11 月中旬頃終了予定)
①	雑魚場架道橋	現状の雑魚場架道橋と事業計画との支障関係の確認	写真測量 (測量成果を参考に、試掘調査を検討する)	写真測量は 11 月着手予定
②	薩摩台場の内外で 1 か所ずつ ※資料 1-2 参照	薩摩台場・築堤が想定される部分と、その外との土層堆積状態の比較資料を得るため	ボーリング調査 (Φ116 mm)	11 月中着手予定 調査位置を調整中
②	薩摩台場北東部	薩摩台場の位置・範囲と遺存度の確認	トレンチまたはライナープレートによる調査	未着手 具体的な調査位置を調整中

## 試掘調査位置について

- ・到達立坑工事予定箇所付近で、試掘箇所を選定しライナープレートにより試掘調査を実施中
- ・調査結果がまとまり次第、委員会に報告

□ : 高輪築堤・薩摩台場推定範囲  
(明治20年頃)

□ : 東海道線接続関連構造物

● : 試掘箇所

--- : 用地境界

● : 薩摩台場内外の  
ボーリング箇所(精査中)

